

第2章

第1次計画の取組状況と評価

白砂青松の室積海岸



1	自然環境保全推進プロジェクト	12
2	美しいまち推進プロジェクト	16
3	もったいない文化推進プロジェクト	19
4	ストップ地球温暖化推進プロジェクト	22

平成20年度からの5年間を計画期間とする「光市環境基本計画（第1次）」では、計画の主導的役割を果たす4つの主要施策をリーディングプロジェクトと位置付け、重点的な取組みを進めてきました。リーディングプロジェクトにおける進捗状況を、毎年度調査し、計画の実効性の確保に努めました。また、指標の達成状況を把握するため計画の最終年である平成24年に市民アンケートを実施しました。

1 自然環境保全推進プロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
里山再生プロジェクト	里山の保全、創造、再生 ／水産林業課	繁茂拡大した竹の伐採及び再生竹の除去を実施。 H20 1カ所 1.0ha H21 4カ所 13.0ha H22 2カ所 6.6ha H23 3カ所 9.2ha
市民と協働による森林づくり	美しい森林を次世代に引き継ぐ ／水産林業課・公園緑地課	市有林の造林事業として、広葉樹（ヤマザクラ）の植栽を実施。 H20 1.0ha H21 1.0ha H22 1.0ha H23 0.7ha
伊藤公の森整備	協働による伊藤公の森の再生 ／水産林業課	竹繁茂地の伐採や広葉樹（ヤマザクラ）の植栽、遊歩道の整備などを実施。
どんぐりランドの運営	どんぐりの森を自ら育てる ／水産林業課	「どんぐり・まつぼっくり教室」を開催し、森の話や自然観察を行うとともに、どんぐりの森整備として種まき及び植栽体験を行い、参加者に自然の大切さについての啓発を実施。 ・「どんぐりまつぼっくり教室」参加者 H20 58人（19家族） H21 1ヶ年が蔓延のため中止 H22 36人（14家族） H23 23人（9家族） ・「どんぐりの森（苗木の植栽）」参加者 H22 11人（4家族） H24 22人（8家族）

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
ひかり名木百選の指定	代表的な巨木や名木の指定 ／公園緑地課	市内 122 本の樹木をひかり名木百選に決定し、「ひかり名木百選」の冊子の作成と標識を設置。
自然環境保全地域の指定	地域指定による自然環境の保全 ／環境政策課	原生自然環境保全地域 3カ所、自然環境保全地域 3カ所を指定し、標識の設置及びマップを作成。
河川再生プロジェクト	協働による保全活動の推進 ／道路河川課・環境政策課	<p>川とのふれあい、水環境の大切さを学ぶ「親と子の水辺の教室」、「島田川エコデザイン事業」を開催。また、エコフェスタでは、島田川の大切さと川の保全の大切さをPR。さらに、下水道未整備地区の自治会を対象に生活排水浄化対策実践活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親と子の水辺の教室」参加者 H20 100人 H21 101人 H22 63人 H23 60人 H24 88人 ・「島田川エコデザイン事業」参加者 H20 40人 H21 エコフェスタにおけるコーナー設置 H22 128人 H23 107人 H24 30人
白砂青松 10 万本大作戦	松の植栽による海岸松林の整備 ／水産林業課	<p>室積海岸及び虹ヶ浜海岸において、市民との協働による黒松植樹を実施。また、密集地の間伐及び松の戸籍銘板設置を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロマツ植栽本数 H20 3,500本 H21 1,450本 H22 1,030本 H23 400本
自然海岸清掃活動	クサフグ産卵地の清掃活動 ／文化・生涯学習課	中学生リーダーやボランティアを中心にゴミ拾いや草刈りなど、クサフグ産卵地の海岸清掃活動を実施。

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
循環型農業の推進	減農薬等による環境負荷の低減 ／農業耕地課	減農薬、減化学肥料による栽培を促進するとともに「エコファーマー」認定者の増員や品目の増加を促進。 ・エコファーマー新規認定者 H20 2人 H21 1人 H22 2人 H23 2人 H24 2人
環境・健康ウォーク	歩きながら自然とふれあう ／体育課・健康増進課・環境政策課	市民ボランティア及び3課の協働により「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」及びコースごとのリーフレットを作成。また、マップを活用した「ひかりふるさとウォーク」を実施。さらに、「光のあるくロードウォーキングラリー」事業を実施。 ・「ひかりふるさとウォーク」参加者 H20 329人 H21 245人 H22 237人 H23 156人 ・「光のあるくロードウォーキングラリー」登録者（累計） H20 382人 H21 497人 H22 567人 H23 607人 H24 615人
環境マップの作成、活用	環境学習教材として活用 ／環境政策課	「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」の活用及び「ひかりふるさとウォーク」の開催。（再掲）

(2) 指標

項 目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
森・川・海など自然とふれあっている人の割合	16.1%	15.2%	20.0%	76.0%
動物や植物の観察や保護活動をしている人の割合	2.5%	1.6%	10.0%	16.0%
自然とのふれあいの機会の多さに関する満足度	24.5%	23.2%	30.0%	77.3%

◇参考値

項 目	策定時	近況値
山や森林などの自然の緑の美しさに関する満足度	81.8%	81.1%
川の水のきれいさに関する満足度	72.9%	66.9%
白砂青松 10 万本大作戦に参加している人の割合	11.6%	12.1%

※参考値における満足度：「満足」と「やや満足」を合わせた数値

※参考値における割合：「いつもしている」と「たまにしている」を合わせた数値

(3) 5年間の評価

本プロジェクトでは、全体的に順調に取組みが進んでおり、一定の成果があったものと考えられます。「ひかり名木百選の指定」では、市内の名木をひかり名木百選に決定し、冊子の作成や標識を設置しました。「環境・健康ウォーク」では、歩きながら自然とふれあうことができる「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」などを作成し、「ひかりふるさとウォーク」や「光のあるくロードウォーキングラリー」を実施しました。また、「どんぐりランドの運営」、「白砂青松10万本大作戦」、「自然海岸清掃活動」など市民との協働による取組みを多く実施し、市民参加による自然環境の保全とともに、自然を敬愛する心を育む取組みを進めてきました。

こうした取組みにも関わらず、指標項目の内、「動物や植物の観察や保護活動をしている人の割合」の達成率が低い状況にあり、これまで以上に自然や動植物とふれあう機会を増加させ、自然環境に対する関心を高める施策などを進めていく必要があります。

2 美しいまち推進プロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
犬の飼い方教室	マナー教室 ／環境政策課	動物愛護月間に合わせ、飼い主のマナーアップのための研修会を実施。 ・「犬の飼い方教室」参加者 H20 43人 H21 51人 H22 31人 H23 25人
環境美化ボランティア・サポート事業	市民参加による地域の環境美化、保全活動の推進 ／地域づくり推進課	身近な道路や公園を地域で管理する団体を募集し、市民参加による環境の美化や保全活動の拡大を推進。 ・加入団体（H19までに3団体加入） H20 2団体 H21 2団体 H22 3団体 H23 1団体 H24 1団体
クリーン光大作戦	市民と協働による清掃活動 ／文化・生涯学習課	青少年の社会参加活動の促進を図りながら河川・海岸及び自治会内道路等の清掃活動を全市的に実施。 ・「クリーン光大作戦」参加者 H20 20,682人 H21 20,064人 H22 18,795人 H23 20,553人 H24 17,381人
神籠石散策道等の整備	文化財周辺の清掃と環境整備 ／文化・生涯学習課	石城山神籠石散策道周辺の支障木の伐採や草刈り、石垣の清掃を実施。また、ボランティア団体による散策道及び周辺の美化・整備活動を実施。
緑花ボランティア	知識を有するボランティアの育成 ／水産林業課	緑化活動や研修会を実施し、市民の自主活動による花と緑の保全活動を推進。 H20 研修会3回、緑化活動6回 H21 研修会1回、緑化活動10回 H22 自主運営へ移行

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
★緑化協定制度	緑につつまれたまちづくりの推進 ／公園緑地課	制度に関する周知不足等により、緑化協定の締結申し出がなかったため未実施。
休耕田の再生・活用	景観形成作物の栽培 ／農業耕地課・環境政策課	中山間地域等直接支払制度における農地の管理活動などで、休耕田を活用した景観形成作物の栽培を推進。

★：未実施事業

（2）指標

項 目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
地域で花木を植える緑化活動に参加している人の割合	4.2%	4.4%	10.0%	44.0%
地域での環境美化活動に参加している人の割合	51.1%	48.0%	60.0%	80.0%
まちの清潔さに関する満足度	6.1%	9.5%	10.0%	95.0%

◇参考値

項 目	策定時	近況値
街並みの美しさに関する満足度	46.5%	52.1%
街路樹などのまちの緑に関する満足度	63.0%	61.7%
クリーン光大作戦に参加している人の割合	83.2%	83.9%

※参考値における満足度：「満足」と「やや満足」を合わせた数値

※参考値における割合：「いつもしている」と「たまにしている」を合わせた数値

(3) 5年間の評価

本プロジェクトでは、市民の主体的な活動による環境美化の取組みを多く実施してきました。「環境美化ボランティア・サポート事業」では、これまで12団体が地域の環境美化や保全活動に自主的に取り組んでおり、その数は年々増加しています。「緑花ボランティア」では、知識を有するボランティアを育成するとともに、平成22年度に自主活動に移行し、市民自らが花と緑の保全活動を推進しています。また、市民総参加の取組みとして定着している「クリーン光大作戦」を継続実施するなど、美しくきれいな街並みと住みよい生活環境を創出するための様々な取組みを進めてきました。

こうした取組みにより、まちの清潔さに関する満足度は目標値に近い水準まで高まっています。

今後は、これまで以上に市民の主体的な参加を助長し、より満足度を高めていく必要があります。

3 もったいない文化推進プロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
ふろしきの普及	ふろしき利用の拡大 ／環境政策課	地球環境に負荷をかけないライフスタイルを普及させることを目的に、ふろしきをもったいないのシンボルとして活用。光市オリジナルもったいないふろしきを作成・販売。ふろしきセミナーやもったいないふろしき展を開催するなど普及啓発を実施。 ・「ふろしきセミナー」参加者 H20 305人 H21 282人 H22 79人 H23 205人 ・「もったいないふろしき」作成枚数 H20 200枚（あい） H21 300枚（あい・もえぎ） H22 500枚（もえぎ・きらめき） H23 2,400枚（雅・和・薫） ※国体使用枚数含む H24 400枚（梅・松）
「もったいない事例」の集約	もったいないの取組みの募集とPR ／環境政策課	もったいない事例を市民から募集し、活用する事業としてホームページ上に「もったいない貯金箱」を設置。平成23年度にもったいない大賞を実施し、3部門における優秀アイデアを表彰。
食育の推進	食育による食品残渣の減量化 ／学校教育課	児童生徒の食に対する関心・意欲の高揚のため、食育アンケートの実施や給食試食会、食育シンポジウム、給食残渣減量キャンペーンを実施。 ・学校給食残量率 H22 5.1% H23 4.5% H24 4.5%

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
生ごみリサイクルの推進	堆肥化による生ごみの減量 ／環境事業課	生ごみ減量啓発パンフレットの作成・配布や、家庭用生ごみ処理機購入補助を実施。また、市快適環境づくり推進協議会と連携し、段ボールコンポストの販売を実施。 ・電動生ごみ処理機補助件数 H20 38件 H21 33件 H22 28件 H23 13件 ・段ボールコンポスト補助件数 H21 186件 H22 365件 H23 196件
紙製容器包装類のリサイクル	紙製容器包装類の資源化 ／環境事業課	保育園、幼稚園、小中学校に回収ボックスを設置し、取組みを推進。
エコショップ認定制度	店舗の認定とPR ／環境事業課	平成22年度に制度を開始し、市内店舗の認定とともに制度の啓発活動を実施。 ・エコショップ認定店数 H22 9店舗 H23 9店舗
不用品交換システムの充実	市民が主体のシステムの構築 ／環境事業課	平成22年度にリユースネットひかり事業を開始し、市民への周知とともに利用促進の向上への取組みを実施。 ・リユースネットひかり利用 H22 譲りたい登録81、成立48 譲ってほしい登録76、成立11 H23 譲りたい登録101、成立70 譲ってほしい登録60、成立22

(2) 指標

項 目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
使い捨て製品の購入を控えている人の割合	28.3%	28.2%	35.0%	80.5%
買い物袋を持参している人の割合	40.0%	90.2%	45.0%	200.0%
不用品バザーやフリーマーケットに参加している人の割合	11.8%	6.6%	15.0%	44.0%

◇参考値

項 目	策定時	近況値
資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	68.3%	76.5%
詰め替え製品を購入する人の割合	88.0%	91.8%
古新聞やアルミ缶等の資源回収に参加している割合	79.6%	80.9%

※参考値における満足度：「満足」と「やや満足」を合わせた数値

※参考値における割合：「いつもしている」と「たまにしている」を合わせた数値

(3) 5年間の評価

本プロジェクトでは、これまで、無駄を出さない、物を大切にするなど生活に密着した循環型社会の実現に向けた取組みを進めてきました。「ふろしきの普及」では、本市オリジナルもったいないふろしきの作成や、ふろしきセミナーの開催など、ふろしきを「もったいない」のシンボルとして、市民の環境意識の向上に努めてきました。

また、廃棄物の発生抑制や再資源化など3Rの取組みとして、事業者の自主的な取組みを促進する「エコショップ認定制度」の実施や、不用品の再使用のための「不用品交換システム」など、様々な取組みを進めてきました。

こうした取組みに加え、県内一斉レジ袋の無料配布中止等により、指標においては、ふろしきやマイバッグなど、「買い物袋を持参している人の割合」が大きく増加しています。

循環型社会の実現に向けた取組みは、何より市民意識の高まりが不可欠であることから、引き続き、啓発活動や制度の利用促進に向けた取組みを進めていく必要があります。

4 ストップ地球温暖化推進プロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H20.4～H24.9）
緑のカーテンの普及	つる性植物による日蔭の創出 ／環境政策課	省エネルギーや環境意識の向上を推進するため、市施設や市立小・中学校全校に緑のカーテンを設置。また、市民に普及を図るため緑のカーテン設置講習会やコンテストを実施。
光熱水費削減プログラム	学校のエネルギー使用量の削減 ／環境政策課	光熱水費の削減への取組みを促すフィフティフィフティ事業を市立小・中学校全校において実施。 第1期（H20.10～21.9）5校削減 第2期（H21.10～22.9）5校削減 第3期（H22.10～23.9）5校削減
地産地消の推進	食品輸送に係るエネルギー削減 ／農業耕地課	食品輸送に係るエネルギー削減を図るため、パイロットショップ、里の厨の運営による地産地消を推進。
★菜の花プロジェクト	採油用植物の栽培 ／環境政策課・農業耕地課	遊休農地や休耕田の有効利用や農地の多面的機能の向上として期待されているが、農業者の高齢化、輸入品に比べ割高等の課題があり未実施。
太陽光発電システムの普及	太陽光発電システムの導入拡大 ／環境政策課	平成21年度から住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を実施。市立小・中学校4校へ太陽光発電システムを設置。 ・住宅用太陽光発電システム補助件数 H21 80件 H22 146件 H23 159件 H24 106件
★廃油再生事業	廃油による石油代替燃料の製造 ／環境政策課	効率的な廃油回収システム及びBDFの地域内利活用の確立に向け検討してきたが、十分な廃油の回収量や需要が見込めないなどの課題があり未実施。
地球温暖化対策地域協議会	協働での温暖化防止活動推進 ／環境政策課	平成20年度に光市地球温暖化対策地域協議会を設立。講演会や緑のカーテンコンテストの実施、ひかりエコフェスタへの協力など、地球温暖化対策への取組みを推進。

★：未実施事業

(2) 指標

項 目	策定時① (H19)	近況値② (H24)	目標値③ (H24)	達成率 ②/③ ×100
家庭で花や木などの緑を育てている人の割合	56.2%	49.1%	65.0%	75.5%
環境家庭簿をつけている人の割合	3.1%	2.0%	10.0%	20.0%
省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	2.9%	4.7%	10.0%	47.0%

◇参考値

項 目	策定時	近況値
節電をしている人の割合	92.2%	96.3%
エコドライブ（アイドリングストップ等）をしている人の割合	57.6%	53.7%
車を使わず徒歩や電車、バス、自転車を使う人の割合	35.2%	43.8%

※参考値における割合：「いつもしている」と「たまにしている」を合わせた数値

(3) 5年間の評価

本プロジェクトでは、自然エネルギーの普及促進や、環境意識の醸成を目的とした「太陽光発電システムの普及」や「緑のカーテンの普及」などの取組みを重点的に行いました。特に、「太陽光発電システムの普及」は、単なる自然エネルギーの転換にとどまらず、市民の環境意識の高揚や環境教育の推進など、多くの効果を生み出すものと考えられ、平成21年度から平成24年度までに491件の住宅に対し設置補助を実施するとともに、市内小・中学校4校に太陽光発電システムを設置しました。

こうした取組みにより、「省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度」は増加傾向にあり、「節電をしている人の割合」も非常に高い値を示しています。

温暖化対策は地球規模で取り組むべき課題ですが、地域に根ざした取組みを進めることにより、地球全体の環境保全につながることから、今後も、本市の特性を活かした自然エネルギーの導入を促進するとともに、エネルギー消費の削減や効率的な使用を進めていく必要があります。



【市の花 ウメ】

菅原道真公ゆかりの冠天満宮に隣接する冠山総合公園梅の里（冠梅園）には、約100種類2,000本の梅の木があります。

2月から3月初めには、赤や白、薄紅の花が咲き誇る園内で「梅まつり」が開催され、野点や邦楽など様々なイベントを楽しめます。